

日本科学者会議（JSA）平和問題研究委員会 連続学習会 1

1月28日（土） 14～16時

岸田大軍拡反対の大運動を
徹底批判 2023年軍事予算案・安保三文書

講師 富塚 明さん ながさき平和委員会・長崎大学・JSA 平和問題研究委員

ZOOMによるリモート開催 参加無料 最大100名

2015年の安保法制で、日本は、違憲としてきた集団的自衛権の行使に踏み出しました。米国の戦争に参戦するための法律ができたことをうけて、自衛隊と米軍の司令部機能の一体化や、共同訓練・演習の恒常化、新基地建設・部隊新設などが進められてきました。

そして2022年、ロシアのウクライナ侵攻や中国・北朝鮮の脅威を理由に、政府は安保3文書をとつじょ閣議決定し、大軍拡予算を組みました。安保三文書では「戦後の防衛政策の大きな転換点となる」と宣言し、軍事的安全保障に「国力を総合しあらゆる政策手段を組み合わせ対応していく」としています。「国力」として、防衛・外交のほかに「経済力、技術力、情報力」を明示しており、文字どおり総動員体制です。

こうして日本を、米国の戦争に実際に参戦していく軍事国家にしようとしているのです。しかし、日本が敵基地攻撃能力を持ち、長距離ミサイルを配備する相手は、中国・北朝鮮・ロシア——核兵器を保有するミサイル大国です。この大軍拡は何をもたらすでしょうか。

「戦後の大きな転換点となる」2023年、日本科学者会議平和問題研究委員会は、連続学習会を実施します。その第1回として、安保三文書・大軍拡予算について、富塚明さんにお話し頂きます。富塚さんは、最近、米国・ロシアの核兵器開発の現状や日本へのF35配備の問題などの講演をされています。今回も、ファクトに基づく明快な分析が聴けるものと期待されます。十分な講演時間・質疑時間をとっています。ぜひご参加下さい。

参加申込み先 okinawa@jsa.gr.jp

主催 日本科学者会議（JSA）平和問題研究委員会

共催 JSA 沖縄支部 協力 沖縄県平和委員会

お問い合わせ先 okinawa@jsa.gr.jp 098-895-8794 担当：亀山 統一